

女峰の生産拡大へ

四国電力など新会社

四国電力(佐伯勇人社長、本社〓香川県高松市)、銀座千足屋(齋藤充社長、本社〓東京都中央区)ならびにテンフィールド(鈴木清子社長、本社〓東京都荒川区)は、地元イチゴ農家と提携して「女峰」のさらなる生産拡大と、地域農業を支える担い手の育成を目的とした農業法人「あくりぼん」(本社〓香川県木田郡三木町、資本金500万円)を、10月1日に設立する予定であることを発表した。

「女峰」は現在、香川県とその他一部地域でしか生産されておらず、希少価値が高まっている。同

事業は、生産者・流通事業者・小売事業者と地域に根差す電力会社がパートナーとなった日本初の事業モデルであり、互いの相乗効果を発揮し、売上拡大に努めていく。

社名の「あくりぼん」は、農業を意味する「Agriculture」と、贈答果実の贈り手と受け手の真心を結ぶ「Ribbon」を合成した造語で、農業によって地域を再生(Reborn)するとう思いも込められている。

生産にあたっては、香川県三木町の農業法人いちご家めいとイチゴ農家が栽培技術を指導する。

国内外への販路拡大・事業多角化支援などの流通面はテンフィールドが、老舗高級果実店のブランド力を活かした販売の部分は銀座千足屋が担う。四国電力は、経営全般に係る支援や事業多角化の支援を行う。

今年12月には、香川県三木町に生産施設の建設を開始し、来年12月の初出荷をめざす。施設面積は約8600平方メートル(栽培ハウス約6000平方メートル、育苗ハウス約400平方メートル、事務所・集出荷場など約2200平方メートル)。

また、イチゴ農家として就農を目指す人を研修生に受け入れる予定であり、地域農業を支える担い手の育成にも取り組んでいく。